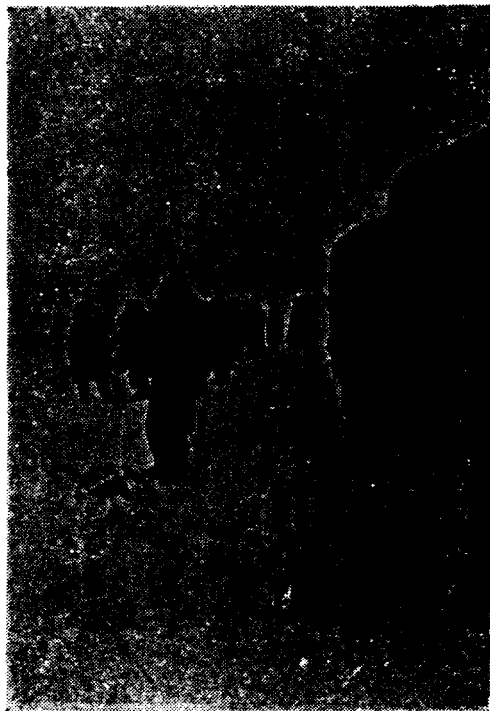


康德八年度土木講習會雜記

本會の事業として康德八年度土木講習會は、各方面の絶大なる御援助を得、日、滿、支の權威を講師に招聘、1月22日より4日間に渡り新京於「協和會館」開催致した處、工事閑散の時期とはゆへ零下30餘度の嚴寒をも顧ず、全滿及北支の土木關係者より出席者550名に達し餘期せざる盛會を呈した。

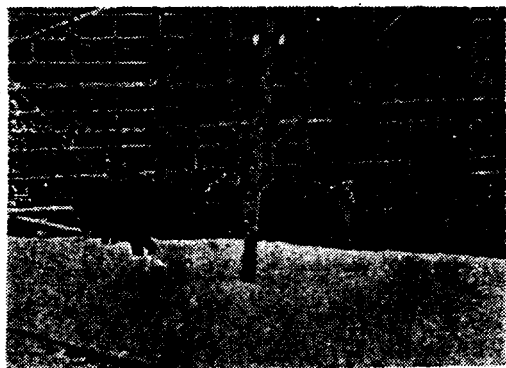
講習會の内容は末記の「プログラム」の通りで、初日(22日)會長代理坂田副會長の開會の辭を皮切に4日間に渡り、各講師の有意義なる講義あり充分授講者に満足を與へた事と思ふ、4日目(25日)平山副會長の閉會の辭並終了證書授與式を以て、無事本講習會の幕を終ちたが引續き午後7時より於「中央飯店」講師並授講者の懇親會を催した、本席では4日間に度り緊張して居た皆の顔も柔らぎ、運ばれる支那料理に舌打しながら雑談に耽り、又代表者の元氣發刺とした餘興等あり盛會にして、時の過るを知らず、一同閑散したのは午後9時であつた。



天望台ヨリ全作業場ヲ望ム

26日は120名の希望者により吉林水電ダムを見學致す事となり、午前9時新京出發の豫定で、新京驛に集合致した處、運悪く列車事故の爲一時閑散の止なきに至つたが本會演主事の數度に渡る接渉により8時發(遅發)急行に乘車出来る事となる。11時出發致し午後1時吉林驛と同時に驛前於「日清ホテル」水電接待の中食を済し4臺のバスに分乘、松花江に沿ひ専用道路を走る事約40分にして目的地に着いた、早速「水電クラブ」に案内され湯茶の接待を受けながら20分間に渡り空閑處長の圖上説明を拜聴後天望台に案内され、全作業場を眼下に見下ながら詳細に渡る處長の説明を承る。

天望台の對岸に小さく「マツチ」箱の様に發電所の家屋が見えていたが家屋内に案内され其の大きのには驚いた



見學中ノ發電所家屋

なんと東京の「丸ビル」が其の中に築に吸収されるとの事である、約2時間に渡り次ぎ次ぎと見學をなし歸路に付いたのは早日も西に傾いた午後5時頃であつた。



空閑處長ヲ圍ミテ

本誌を以て舊正月の休みにも拘らず御案内の勞を賜つた
空閑處長並係員の方々に謹みて謝意を表すと共に本講習
會授講者一同に對し不行届の點を御詫び致す次第である

編輯室 H 生

康徳八年度土木講習會プログラム

主催 社團法人滿洲土木學會

期日 康徳8年1月22日—26日(5日間)

會場 新京協和會館

◎第1日 1月22日(水)

開會之挨拶 會長 (9.30—11.00)
滿洲に於ける郡邑計畫の實察 (11.00—12.00)
交通部 山野 善次
中食 (12.00—12.40)
客貨車停車場に關する概念 (12.40—14.00)
鐵道總局 白髮 宗雄
航空港に關するの2.3の問題に就て (14.00—15.00)
交通部 羽中田 參次
映畫會 (16.00—18.00)

◎第2日 1月23日(木)

滿洲國の水力開發 (9.30—11.00)
水力電氣建設局 瀨尾 一久
滿洲建國と技術者の使命 (11.00—12.30)
總務廳弘報處 武藤 富男
中食 (12.30—13.30)
橋梁に就いて (13.30—15.00)
鐵道總局 岡本 大一

築堤に就いて

(15.00—16.30)

交通部 橋内 徳治

◎第3日 1月24日(金)

營口港修築に就いて

(9.30—11.00)

交通部營口
土木工程處

瀨尾 誌藏

北海道土地改良事業に就いて

(11.00—12.30)

北海道廳 仁木 信恭

中食

(12.30—13.30)

水理試驗に就ての所見

(13.30—15.00)

内務省 横田 周平

自動車専用道路の設計法に就いて (15.00—16.30)

交通部 瀬戸 政章

◎第4日 1月25日(土)

漢口改修工事に就て

(9.30—11.00)

朝鮮總督府 中島 強

河川港灣

(11.00—12.30)

建設總署 澁谷 和夫

中食

(12.30—13.30)

時局下に就ける橋梁の施工に就いて (13.30—15.00)

内務省 鈴木 清一

滿洲土地開發事業

(15.00—16.30)

開拓總局研究所 内藤 利貞

閉會式

懇親會

◎第5日 1月26日(日)

見學會(吉林水力電氣建設局現場)